

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公表番号】特表2006-516708(P2006-516708A)

【公表日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2006-501574(P2006-501574)

【国際特許分類】

F 1 6 H 61/46 (2006.01)

F 1 6 H 61/42 (2006.01)

F 1 6 H 59/44 (2006.01)

F 1 6 H 59/54 (2006.01)

F 1 6 H 59/72 (2006.01)

F 1 6 H 61/66 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 61/46

F 1 6 H 61/42 D

F 1 6 H 59:44

F 1 6 H 59:54

F 1 6 H 59:72

F 1 6 H 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月22日(2007.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

少なくとも1個の油圧ポンプ(2)と、2個の作動管(6)に接続され、キャパシティーが調整可能な少なくとも1個の油圧モータ(5)とを備え、油圧ポンプ(2)が作動油を作動油タンク(3)から取り出して、少なくとも1個の作動管(6)を経て油圧モータ(5)に送り、また油圧モータ(5)を出る作動油の流れを制限することができるブレーキ弁を備えた移動台車用油圧トランスマッションにおいて、

センサ(11)が車速又はこの車速に対応する出力回転数を検出して電子制御装置(8)に送り、電子制御装置(8)が速度要求に応じてこれに相当する車速又は出力回転数を計算し、センサ(11)が検出した車速又は出力回転数が計算された車速又は出力回転数にほぼ一致するように、油圧モータ(5)のキャパシティーを調整し、制動操作時にはあらかじめ確定された減速度が得られるように、油圧モータを調整することを特徴とする油圧トランスマッション。